

# Koto Cinema Plaza

第 45 期

月 1 回土曜日の映画会



# 江東 シネマプラザ

## 映画のまち深川で、映画を観よう

2023 年 12 月 12 日に生誕 120 年を迎える名監督・小津安二郎は 1903 年に深川で生まれ、深川の風景を愛しました。

古石場文化センターでは小津監督作品の上映機会や紹介展示コーナーを設けています。「江東シネマプラザ」は名画を楽しむ会員制の上映会です。

### 会員特典

★全 10 回の上映会を予約なしにご鑑賞いただけます

★素敵なグッズが当たる  
特別抽選会に参加できます

★上映日には指定店舗での割引が受けられます  
協力：牡丹町笑栄会  
※詳細は別冊子をご参照ください

### 「江東シネマ倶楽部」新規会員募集

#### 期間

2023 年 4 月 22 日 (土) ~  
2024 年 2 月 24 日 (土) 全 10 回

#### 時間

午前の部：11 時開演  
午後の部：3 時開演

#### 年会員

一般 4,000 円 (全 10 回分)  
ティアラ友の会 3,800 円 (全 10 回分)  
※途中入会についてはお問い合わせください。

#### 月会員

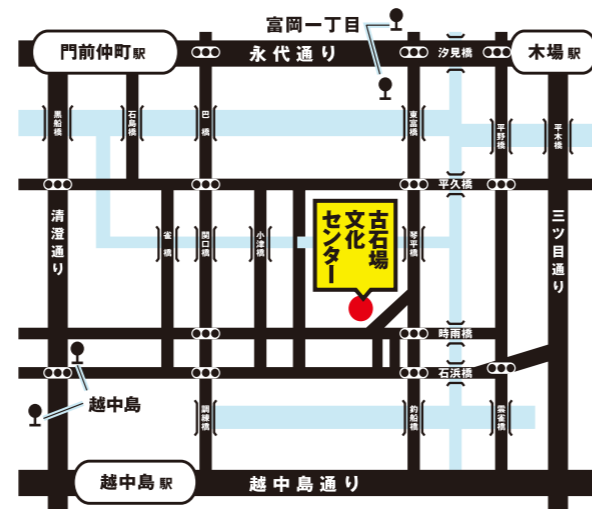
一般 500 円 (1 回分)  
※年会員が定員に達した場合は募集しません。  
※月会員の受付は上映月の 10 日から行います。  
※お席に余裕がある場合のみ開演の 15 分前より当日受付をします。

会場 古石場文化センター 2 階 大研修室 全席自由  
お申込み・お問合せは電話・窓口で承ります。

☎ 03-5620-0224

### 交通案内

- 東京メトロ東西線「門前仲町駅」下車 2 番出口より徒歩 10 分
- JR 京葉線「越中島駅」下車 3 番出口より徒歩 10 分
- 東京メトロ東西線「木場駅」下車 4 番出口より徒歩 10 分
- 都営地下鉄大江戸線「門前仲町駅」下車 4 番出口より徒歩 15 分
- 都営バス  
都 07 錦糸町駅 ⇄ 門前仲町  
東 20 錦糸町駅 ⇄ 東京駅丸の内北口 } 「富岡一丁目」下車徒歩 7 分  
東 22 錦糸町駅 ⇄ 東京駅丸の内北口  
門 33 亀戸駅 ⇄ 豊海水産埠頭 「越中島」下車徒歩 10 分



『放浪記』©TOHO CO., LTD. 『父ありき』©1942 松竹株式会社 『ベルリン・天使の詩』©Wim Wenders Stiftung – Argos Films  
『カルメン故郷に帰る』©1951 松竹株式会社 『丹下左膳 百万両の壺』©2004 SAZEN Partners 『家族』©1970 松竹株式会社

2023

4/22 父ありき

5/27 阿弥陀堂だより

6/24 丹下左膳一百万両の壺一

7/22 カルメン故郷に帰る

2024

8/26 地下鉄(メトロ)に乗って

9/23 放浪記

10/28 のど自慢

11/25 ベルリン・天使の詩

12/16 家族



公益財団法人江東区文化コミュニティ財団  
主催：江東区古石場文化センター 〒135-0045 東京都江東区古石場 2-13-2  
TEL: 03-5620-0224 FAX: 03-5620-0258 URL: https://www.kcf.or.jp



# 第45期江東シネマプラザ

# 年間上映作品

各作品紹介の下側【 】内の年数は製作年です。

2023



4/22

父ありき



©1942 松竹株式会社

今年生誕 120 年の小津安二郎監督戦前の作品。中学教師の堀川は、男手一つで息子を育てていたが、ある出来事のため職を辞す。故郷長野に帰り役場で働くが、息子が進学し寄宿舎に入ったのを機に、上京し離れて暮らすようになる。やがて息子も教師となり…。互いに思い合う親子の深い絆が描かれる。

監督 / 小津安二郎  
出演 / 笠智衆、佐野周二、坂本武  
【1942年 / 94分 / モノクロ】

5/27

阿弥陀堂だより



©2002 『阿弥陀堂だより』製作委員会

小説家の上田孝雄は信州の自然豊かな村に、医師の妻・美智子と共に数十年ぶりに戻ってくる。上田は心のバランスを崩した妻の治療のため故郷で暮らすことを決めたのだ。美智子は、阿弥陀仏を祀るお堂に暮らす老婆など村人との交流を深め、自然体で暮らすことで次第に元気を取り戻す。

監督 / 小泉堯史  
出演 / 寺尾聰、樋口可南子、北林谷米  
【2002年 / 128分 / カラー】

6/24

丹下左膳 百万両の壺



©2004 SAZEN Partners

原作は林不忘。早世の天才映画監督・山中貞雄が撮り上げた傑作を完全リメイク。ひょんなことから孤児を面倒見るハメになった隻眼隻腕の丹下左膳。戸惑いながらも親子の情を育んでいくかわら、柳生家伝来の秘宝“こけ猿の壺”争奪戦に巻き込まれていく。

監督 / 津田豊滋  
出演 / 豊川悦司、和久井映見、野村宏伸  
【2004年 / 118分 / カラー】

10/28

のど自慢



©1998 ジェイ・シネカノン・東宝・日活・ポニーキャニオン

テレビ番組「のど自慢」が、群馬県桐生市で開かれることになった。時を同じく売れない演歌歌手・赤城麗子が仕事で故郷にやってきた。実家で偶然「予選会のハガキ」を手にした麗子はこっそり出場しようとする。冴えない中年男、歌手を夢見る高校生。出場者の思いを乗せて番組が始まる。

監督 / 井筒和幸  
出演 / 室井滋、大友康平、尾藤イサオ  
【1999年 / 112分 / カラー】

11/25

ベルリン・天使の詩 (日本語字幕)



©Wim Wenders Stiftung - Argos Films

天使ダミエルは、人々の心の声を聞き、その苦悩に寄り添っている。ある日、孤独を抱えたサーカスの舞姫マリオンに出会い、恋をした彼は天界から人間の世界に降りることを決意…。壁崩壊以前のベルリンを舞台に、天使の世界をモノクロ、人間の世界をカラーで表現した映像美と、後にノーベル賞作家となるペーター・ハントケによる詩的な脚本で紡がれる壮大な映像詩。小津監督に捧げた作品。

監督 / ヴィム・ヴェンダース  
出演 / ブルーノ・ガンツ、ソルベグ・ドマルタン  
【1987年 / 129分 / モノクロ・一部カラー】

2024

1 / 13・14



江東シネマフェスティバル

詳細は秋ごろ

※1月の江東シネマプラザはお休みです。  
※別途鑑賞料金が必要です。

7/22

カルメン故郷に帰る



©1951 松竹株式会社

東京でストリッパーをしている“リリィ・カルメン”（おきん）が、故郷に錦を飾ろうと友人を連れて帰ってきた。すると静かな村は一変。運動会を台無しにし、ストリップ公演を行い、村中を珍騒動に巻き込んでゆく。木下監督は小津監督とともに松竹大船で活躍。本作は、日本映画初の総天然カラー作品として話題となった。

監督 / 木下恵介  
出演 / 高峰秀子、小林トシ子、笠智衆  
【1951年 / 86分 / カラー】

8/26

地下鉄(メトロ)に乗って



©2006 METRO ASSOCIATES

絶縁状態の父が倒れたと知らせを受けた日、衣料品会社の営業マン・長谷部真次は、地下鉄で移動していた。そこに突然、亡き兄が姿を現す。兄を追って地下を抜けると、そこは昭和39年の東京だった。浅田次郎原作、時を超えた父と子の愛憎、そして哀しい愛の行く末を描いた作品。

監督 / 篠原哲雄  
出演 / 堤真一、岡本綾、大沢たかお  
【2006年 / 121分 / カラー】

9/23

放浪記



©TOHO CO., LTD.

昭和初期。ふみ子は貧困からカフェの女給など職を転々とする。一方で詩作に励み、やがてその才能を見出されていく。林芙美子の自伝的小説「放浪記」を映像化。小津監督と同時期に活躍し、映画の黄金時代を支えた成瀬巳喜男監督の女性の描き方に注目。

監督 / 成瀬巳喜男  
出演 / 高峰秀子、田中絹代、加東大介  
【1962年 / 123分 / モノクロ】

12/16

家族



©1970 松竹株式会社

高度経済成長期の日本。親子3世代の家族が、住み慣れた長崎から列車を乗り継ぎ北海道へ移住することになる。大阪万博や東京など、日本の情景を描いたロードムービー。悲しみを乗り越え、新たな生活を始めて生きていく様子を松竹大船調の流れをくむ山田監督が描いている。

監督 / 山田洋次  
出演 / 倍賞千恵子、井川比佐志、笠智衆  
【1970年 / 107分 / カラー】

2024

2/24

泥だらけの純情



©日活

外交官の令嬢榊山真美とチンピラやくざの次郎が知り合ったのは新宿の盛り場だった。不良学生につけ廻されていた真美を次郎が逃がし交流が始まる。住む世界が違う二人のひたむきな愛の悲劇を描く。日活黄金コンビによる純愛映画の決定版。

監督 / 中平康  
出演 / 吉永小百合、浜田光夫  
【1963年 / 91分 / カラー】

## 鑑賞にあたって

各作品とも現存する最良状態のフィルム原版より製作されたものですが、古い映画であるため、映像・音声に乱れが生じる場合がございます。また、やむを得ない事情により上映作品が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

音声ガイドとは…映画の登場人物の動作や場面状況を、セリフや想像の邪魔にならないように配慮しながらシナリオ化し、上映時にナレーションを流します。FMラジオをご持参いただければ、どなたでも聴くことができます。今回の映画作品のシナリオは「音声ガイド制作ボランティア・江東シネマアイ」が制作しています。



## 音声ガイド制作ボランティア「音声ガイド江東シネマアイ」

古石場文化センターの「映画音声ガイド制作ボランティア養成講座」の修了生が中心となり、平成19年に立ち上げたボランティア団体です。上映時にナレーションをFM放送で流します。

・新型コロナウイルス感染症対策にかかるマスク着用は個人の判断が基本となります。